



弓削高等学校

<http://ehm-yuge-h.esnet.ed.jp/>



齋藤君、県高文祭弁論部門優秀賞受賞！

2年生、インターンシップ実施
11月8日(水)・9日(木)、2年生はインターンシップに行ってきました。今年度は8事業所に協力していただきました。その後は本校で報告会を行い、インターンシップの振り返りをし、学んだことを整理することができました。御協力いただきました事業所の皆さま、本当にありがとうございました。



第31回県高文祭に出品・出場、弁論部門で優秀賞



11月18日(土)・20日(月)、愛媛県県民文化会館(ひめぎんホール)、愛媛県美術館南館、内子座において第31回愛媛県高等学校総合文化祭が行われました。今年度は合唱、吹奏楽、文芸、弁論部門の4部門に出場、美術・工芸、書道、写真部門の3部門に出品しました。合唱部門では全校生徒で出場し、「群青」を

歌い、全校生徒の絆を深めることができました。弁論部門では、2年生の齋藤ジョン大雅さんが優秀賞を受賞し、来年の第42回全国高等学校総合文化祭長野大会に推薦していただくことになりました。



愛であふれる 上島町へ 共に暮らす —高齢者と共に支え合う島づくりを—



魚島での学習会の様子

昨年は地域ふれあい学習会やそのほかいろいろな行事を通じて、たくさんの住民の方とふれあう機会を持ってました。その一つが、地域の高齢者が中心となって、手づくりで自分たちの住む地域のために実施している「かみゆげ小さな文化祭」です。平均年齢75歳、「今日は病院だからね」「足が痛いよ」と言いながらも、声をかけあい、アイデアを出し合いながら、企画から運営まで協力してくださっています。困ったことがあれば「それは〇〇さんが得意!」「これで代用できるよ」とすぐに解決します。「年の功」と言いますが、みなさんの知恵とパワーには頭が下がります。

10月に岩城地区、11月に魚島地区で開催した地域ふれあい学習会では、高齢者の人権問題を話し合いました。岩城中学校の生徒からは、高齢者疑似体験や認知症サポーター養成講座で高齢者について学んだことを、また、魚島中学校の生徒からは、おばあちゃんとの生活の中で感じたことや島のお年寄りとのふれあい、ユニバーサルデザインについて発

表がありました。年をとることで身体的に出来にくいことが増えたり、認知症やアルツハイマーといった病気になったり、独居の高齢者も多くいらっしゃる状況について、私たちは理解を深めていく必要があります。以前は当たり前な家庭においちゃん、おばあちゃんのいる生活がありました。核家族化が進み、子どもたちが高齢者とつながる機会は減ってきました。その中で、魚島のように普段から島のお年寄りとおふれあい、自然に高齢者の方々への理解を深められる環境はとても素晴らしいと感じます。

「共に暮らす」ことを考えてみた時に、私は、高齢者も私たちもそれぞれに抱える問題を理解し、支え合うことが大切ではないかと思えます。支え合うというのは、一方的ではなく、高齢者の方が出来にくいところは配慮や支援が必要であるし、逆に高齢者のみなさんが地域の一員として活躍し、私たちに支えてくださっている部分もあります。互いが互いを思い、つながりながら生きる、そういう島をつくっていきたくと思っています。



生涯学習課 中西 智恵



弓削商船高等専門学校

<http://www.yuge.ac.jp/>



商船祭・オープンキャンパスを開催！

留学生日本語スピーチコンテスト in 愛媛 2017で最優秀賞



11月5日(日)、愛媛県留学生等交流推進会議主催の「留学生日本語スピーチコンテストin愛媛2017」に4名の留学生が参加し、電子機械工学科5年のタツサクロンウォン・タツさんが最優秀賞を、情報工学科4年のムハマド・シャフィック・ビン・シャヒダンさんが佳作を受賞しました。4人の留学生は、先生と前日の

夜まで練習を重ね、タツさんの受賞コメントには「先生のおかげです」という一言がありました。

来年も出場するチャンスのある4年生の留学生は、「また来年も参加してみたい」と話していました。

第47回商船祭・H29第2回オープンキャンパス開催

11月11日(土)・12日(日)の両日に渡り「第47回商船祭」を開催しました。各クラブが運営する各種バザー販売、文化部の展示・発表、音楽会をはじめ、実行委員会主催による多くのイベントが両日に渡り開催され、多くの方が商船祭を訪れてくださいました。

また、商船祭と同時開催で第2回オープンキャンパスも実施しまし

た。両日で129名の中学生のみなさん、全体では295名の方にご参加いただきました。このたび、初めて3学科全て見学するというスケジュールでしたが、参加者のみなさまからは、「各学科の違いがわかった」「充実した設備の中で自分も学びたい」といったご意見をいただきました。また、午後は学寮見学や進路相談、興味のある学科での体験など、盛りだくさんの内容となりました。



島おこし協力隊活動報告

あけましておめでとうございます。島おこし協力隊の任期満了まで9ヵ月となりました大西です。本年も何卒よろしく願い申し上げます。

ここ最近の主な活動としては、11月26日(日)にかみゆげ小さな文化祭の中で、地区の大人の方に講師を依頼し、子ども体験教室「かみねんどでつくろう!」を開催、12月2日(土)の佐島地区三世代交流会と、12月16日(土)の生名地区なごみ会で、ディスコンというニュースポーツ導入のための説明を担当させていただきました。12月10日(日)には、かみじま福祉フェスタでトークセッションに登壇、という元来裏方的役割の方が向いている私にとっては、少々ハードなお仕事をいただきました。テーマが「地域に根差す居場所づくりを目指して」ということで、今回は主に子ども教室関連の活動報

子どもたちの第三の居場所づくり

告をさせていただきました。

子ども体験教室は、私が今まで出会ってきた地域の皆さまに講師を依頼し、地域の子どもの遊びや学びを提供するものです。この取り組みが、家庭でも学校でもない第三の居場所として、子どもたちが安心して楽しく過ごせるものになればと考えております。それだけでなく、この教室が多世代交流の場、知識や技の伝承の場ともなり、参加者だけでなく、講師役の方、ひいては地域にとっても有益なものにしていけるよう、取り組みを進めていきたいと思っております。講師役といっても、プロ級の技や高いプレゼン能力がいるわけではありません。身内より少し多い、子どもや孫と話す感覚で大丈夫ですので、私が依頼に伺った際にはお引き受けください。一緒に楽しみましょう!



子ども体験教室 「かみねんどでつくろう!」



島おこし協力隊 大西 美穂